

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2010 年度(財)日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項及び申し合わせ事項により実施する。
2. 練習場および練習について
練習に関する注意事項(プログラム 15P)を確認のうえ、危険防止に十分注意し、競技役員の指示に従い行うこと。
3. 招集について
 - (1) 招集所は、補助競技場連絡通路を通り、第4ゲート側に設ける。
 - (2) 各種目の招集開始時刻と招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄(P10-P12)を参照のこと。
 - (3) 招集方法については、次のとおりである。
 - ① 競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、競技役員から点呼、競技会一般規則第 143 条、第 144 条の 2 に基づき持ち物の確認を受け、競技役員の誘導により競技場に入る。
 - ② トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を競技役員から受け取る。
 - ③ 2 種目同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、「2 種目同時出場届」に記入し、招集開始時刻までに招集所の競技者係に提出する。
 - ④ リレー競走に出場するチームは、所定のリレーオーダー届用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに、招集所競技者係に提出する。(用紙は招集所に準備する)
 - ⑤ 代理人による最終点呼は認めない。招集完了時刻に遅れた場合は、該当種目を棄権したものとみなす。
4. ナンバーカードについて
 - (1) ナンバーカードは、配布された大きさのままで明瞭に見えるようにユニフォームの胸部・背部につける。ただし、走高跳・棒高跳に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
 - (2) トラック競技に出場する競技者は、招集所で配布された腰ナンバー標識を右腰部やや後方につける。
5. 競技について
 - (1) トラック競技は全て写真判定装置を、砲丸投を除く投てき競技は光波距離計測装置を使用する。
 - (2) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載順で行なう。
 - (3) 棄権する競技者は、「棄権届」に所定の事項を記入のうえ、招集開始時刻までに所属連盟事務局(競技者受付)に届け出ること。
 - (4) 準決勝・決勝の組合せ及びレーン順は、主催者が公正に決定し、その結果を番組表示板(スタジアム正面スタンド入口付近と補助競技場西出入口付近)に掲示する。
 - (5) タイムによる「+ α」のある競技種目は、規則第 167 条により決定する。同記録が出た場合は 1000 分の 1 秒単位を考慮して判定し、それでも決められないときは抽選とする。
 - (6) 男子 200m は、決勝進出者以外の上位 8 名により B 決勝を行なう。ただし、表彰並びに対抗戦の得点の対象とはしない。
 - (7) 三段跳の踏切板は、男子 13m・女子 9・11m の地点に設置する。
 - (8) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m90 2m00	1m95	2m00	2m05	2m10	2m15	2m18	2m21	以後 3cm 刻み
女子走高跳	1m50 1m70	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	以後 3cm 刻み
男子棒高跳	4m50 5m00	4m60	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	5m20	以後 10cm 刻み
女子棒高跳	2m90 3m60	3m00	3m20	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	以後 10cm 刻み

- ① 荒天、その他特別の状況が生じた場合、審判長の判断により変更することがある。
- ② 棒高跳においては、男子 5m00、女子 3m60 の試技の前に試技順で足あわせの時間を設ける。
- ③ 棒高跳の競技者は、自分が希望する最初に試技する高さや支柱の位置をあらかじめ所定の「棒高跳支柱移動届」に記入し、招集時に担当競技役員に提出する。

- ④優勝決定のためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。
- (9)男女 10000mWの競技者は、60分を過ぎて新たな周回に入ることはいできない。

6. 競技場への入退場について

競技場への入退場は、全ての競技役員の指示により行なう。

7. 競技用靴・用器具について

- (1)競技場は全天候舗装である。スパイクの数は11本以内で、長さ9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投は、12mm以下とする。また、スパイクの先端近くで長さの半分以上は4mm四方の寸法に適合し先端が鋭利なものはい使用できない。
- (2)競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポール、投てき用器具は、各人所有のものを検査のうえ、使用することができる。検査後の用器具は、主催者預かり扱いとし、投てき用器具は全競技者が使用できるものとする。検査時間は、各競技種目の競技開始2時間前より、招集開始時刻までに補助競技場連絡通路を通り、招集所(第4ゲート入口)の隣で行う。棒高跳用ポールについては、跳躍場で競技役員が随時検査を行なう。
- (3)フィールド競技で助走路に使用できるマーカーは、主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルから行なう競技はマーカーを1個だけ使用することができる。

8. 抗議・上訴について

- (1)競技の結果または行為に関する抗議は、その種目の正式結果発表後30分以内(次のラウンドがある場合は15分以内)に行わなければならない。(大型スクリーン表示終了時刻を基準とする)
- (2)競技の結果または行為に関するいかなる抗議も、まず第一に競技者自身または代理人から審判長に対して口頭でなされなければならない。抗議受付窓口は所属連盟事務局(競技者受付)とし、担当総務員を経て審判長にとりつかれる。
- (3)上訴審判員に上告する場合は、審判長によってなされた決定の公式発表から30分以内(次のラウンドがある場合は15分以内)に、競技者自身または代理人が自書し、担当総務員が署名した文書と、預託金10,000円を添えなければならない。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

9. ドーピングコントロールテストについて

ドーピングコントロールテストはJADAおよびJAAFの規則に従い実施するので、係員より指名された競技者はテストを受検すること。

10. 表彰について

- (1)各種目の1位から3位の競技者の表彰は、正面スタンド前表彰台で行なう。
- (2)表彰は、その種目の正式結果発表後30分経過してから行うので、3位までの入賞者は表彰控所に集合すること。
- (3)各種目の優勝者には選手権賞、3位までに賞状および副賞を授与する。
- (4)団体総合6位までの団体および優秀選手の表彰は、閉会式で行なう。総合得点が同点の場合、優勝種目の数により決定する。なお、優勝種目同数の場合、2位の数により決定する。以下これに準ずる。

11. その他

- (1)衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。
- (2)更衣室は本競技場1階と補助競技場連絡通路を通り、第3ゲート側予備室1の2箇所に設けている。本競技場1階の更衣室に入室するときは、競技役員にADカードを提示すること。更衣・シャワーのみに使用し、荷物は各自で管理すること。
- (3)記録はその都度発表するが、スタジアム正面スタンド入口と補助競技場西出入口(スタジアム第4ゲート側)付近の掲示板に印刷物でも掲示をする。
- (4)正面スタンドとバックスタンド及びサイドスタンドの最前列には、応援旗・部旗・横幕・のぼり等を取り付けないこと。その他の場所においても個人名の表示されたものは一切掲げてはならない。
- (5)貴重品類は各自で保管すること。万一紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。
- (6)遺失物については競技者受付で管理する。
- (7)応急処置を必要とする事故が発生した時は、大会本部に連絡し処置を受けること。

なお、応急処置後の治療は個人負担とし、以後の責任は負わない。

(8)トレーナーステーションは、補助競技場連絡通路を通り、第3ゲート側予備室1に設ける。

(9)棒高跳のポールの返送は、競技終了後、宅配業者(競技者受付)に委託することができる。送料は競技者負担とする。

(10)提出書類等については下記のとおり行う。

	提出書類	提出先	提出時間
1	棄権届	所属連盟事務局(競技者受付)	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届	招集所	第1種目の招集開始時刻まで
3	リレーオーダー用紙	招集所	各種目第1組招集完了時刻の1時間前
4	棒高跳支柱移動届	招集所	招集開始時刻に
5	用器具検査申請書	用器具検査場	競技開始2時間前から招集開始時刻まで
6	抗議申し立て (口頭)	所属連盟事務局(競技者受付)	正式記録発表後(予・準) 15分まで
			正式記録発表後(決) 30分まで
7	上訴申立書 (文書)	所属連盟事務局(競技者受付)	審判長公式裁定後(予・準) 15分まで
			審判長公式裁定後(決) 30分まで
8	プログラム訂正届	競技者受付	9月24日は16:00まで
			9月25日・26日は8:45まで

練習に関する注意事項

1. 練習会場および使用時間は、下記日程表とする。
2. 練習は、競技役員の指示および各チームの監督等の指示のもと、事故防止に十分配慮し行うこと。
3. 練習に使用する用具は、原則として各自持参とする。
4. スパイクのピンの長さは、9mm 以下とする。但し走高跳・やり投については、12mm 以下とする。
5. 練習におけるレーンの使用については、次の通りとする。

メイン競技場 1～3レーン＝中・長距離・競歩種目

ホームストレート 4～7レーン＝短距離種目

ホームストレート 8～9レーン＝ハードル用

400mH は、ホームストレートを除く 8～9レーンに設置すること。

走幅跳・三段跳の踏切板の設置については、種目によってはの配慮はしない。

芝生内アップ及びダウンは禁止とする。

補助競技場 1～3レーン＝中・長距離・競歩種目

ホームストレート 4～6レーン＝短距離種目

ホームストレート 7～8レーン＝ハードル用

400mH は、ホームストレートを除く 7～8レーンに設置すること。

6. 屋内練習場は、ウォーミングアップのみとする。
7. 新潟市陸上競技場は円盤投、やり投のみとする。
8. ウェイトトレーニング場は新潟県スポーツ・医科学センター内に設ける。

会場名	競技種目	9月23日(木)	9月24日(金)	9月25日(土)	9月26日(日)
本競技場 ・全天候舗装 ・9レーン	トラック種目	12:00～18:00	9:00～16:00	×	×
	ハードル種目	12:00～18:00	9:00～16:00	×	×
	走幅跳・三段跳	12:00～18:00	9:00～16:00	×	×
	走高跳	12:00～18:00	9:00～16:00	×	×
	棒高跳	12:00～18:00	9:00～16:00	×	×
	投てき種目	×	×	×	×
補助競技場 ・全天候舗装 ・8レーン	トラック種目	×	15:00～19:30	8:00～19:30	8:00～18:00
	ハードル種目	×	15:00～19:30	8:00～19:30	8:00～14:30
	走幅跳・三段跳	12:00～18:00	9:00～18:00	8:00～18:00	8:00～13:00
	走高跳	×	×	8:00～18:00	8:00～12:00
	棒高跳	×	×	8:00～18:00	8:00～11:00
	砲丸投	12:00～18:00	9:00～18:00	8:00～18:00	8:00～11:00
	円盤投	14:00～15:00	13:00～14:00	×	×
	ハンマー投	15:00～16:00	14:00～15:00	×	×
やり投	16:00～17:00	×	×	×	
屋内練習場		×	9:00～19:30	9:00～19:30	9:00～16:30

※投擲練習の為、23日(木)12:00～18:00、24日(金)13:00～15:00は補助競技場でのトラック練習は行えません。